

人と人、組織をつなぎ、あなたの暮らしを支えます

愛さぽーと

I support

2024

03

社会福祉協議会

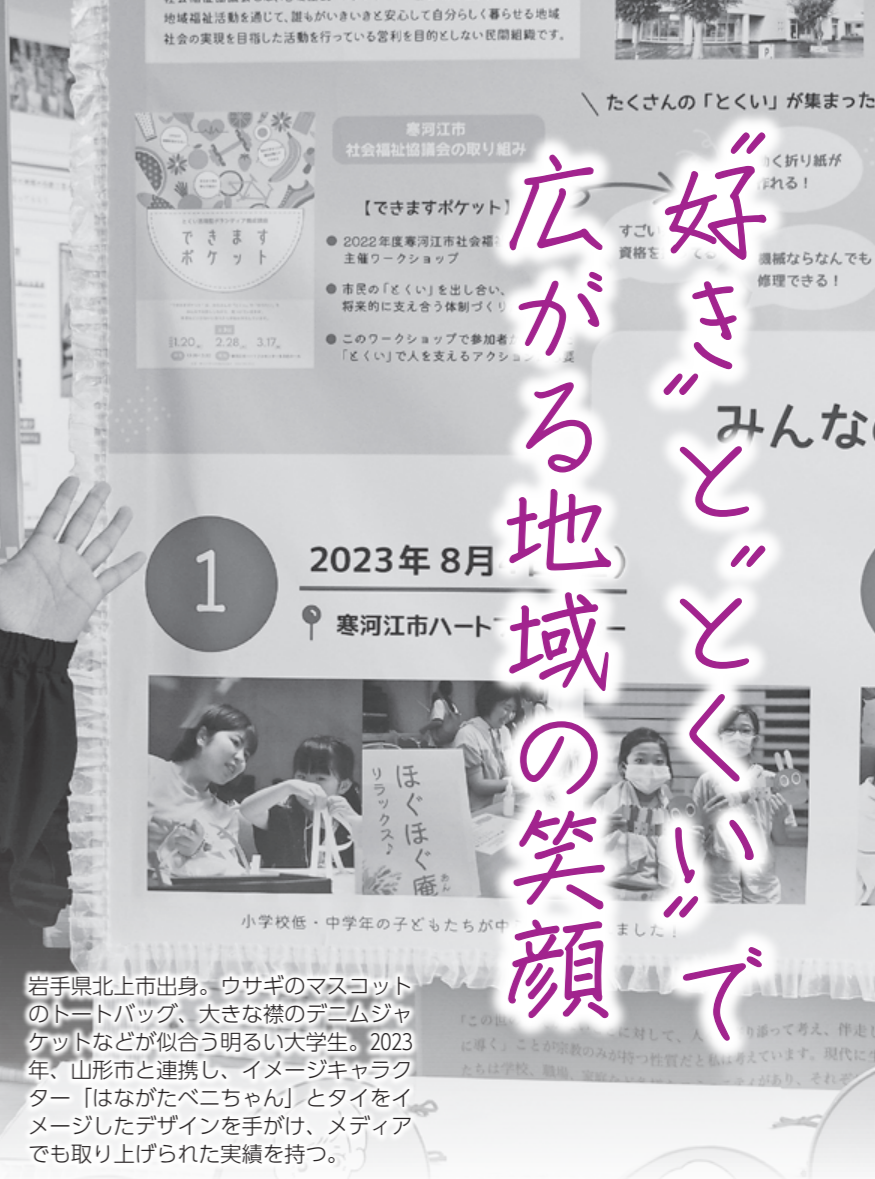
広報 vol.121

特集

"好き"と"とくい"で
広がる地域の笑顔



から始める
参加への仕組み



好きごとくい
広がる地域の笑顔



藤澤 姫奈
ふじさわ ひな

岩手県北上市出身。ウサギのマスコットのトートバッグ、大きな襟のデニムジャケットなどが似合う明るい大学生。2023年、山形市と連携し、イメージキャラクター「はながたべこちゃん」とタイをイメージしたデザインを手がけ、メディアでも取り上げられた実績を持つ。

ネイルを塗る参加者。あまりの器用さに思わず尋ねる。「いつも塗っているんですか？」
「もうね、40年も前にね。それからはやっていないのよ。」シンプルに色を重ねるだけではなく、小さなストーンをピンセットでのせる、違うカラーをアクセントに入れる。「どうかな？」「わぁ！かわいいですね。」「これ（小さなモチーフ）もいいと思いますよ。」声をかけるのは大学生の藤澤姫奈さん。（ここからは「ひなさん」）。笑顔とその言葉が、心の隅に置かれた、ワクワクする気持ちを引き出す。きれいにできたネイルはとても可愛くて素敵だった。ひなさんは、卒業研究として「とくい」からはじめる地域福祉活動の仕組みづくりを私たちと一緒にすすめてきた。

とくいから生まれた
地域福祉の新たな一歩

きっかけは、青森に住む曾祖母のこと。会うたびに、ひなさんと妹、お母さんの名前を間違えるなど、軽度認知症状態で家に閉じこもりがちになっていったそう。ある時、玄関に見慣れない生花の作品があることに気がついた。
「きれいな花だね、これはどうしたの？」そう尋ねると、「週に一回ほどコミュニティセンターに行つて、お友達と生花作品を作っているのよ」と満面の笑み。
以前よりすごく楽しそうにしている姿に、高齢になっても打ち込める活動や、一緒に取り組める友達がいることが大切なかもしれない、と生きがいと健康に関心をもった。岩手県から大学に通うため一人暮らしを始めたのは4年前。高校では美術学系デザインコースに通っていた。やりたいことを考えたときに、デザインので地域を元気にすることをしたい！と思ったそう。最初は、慣れない土地での生活は、知り合いもおら

ず不安でいっぱいだった。救われたのは、特技のシェアをすること。もともとかわいものやきれいなものが大好きで手作りも得意。「かわいいな、やってみよう！」興味を沸かした編み物は、友人から教えてもらい自分でもできるようになった。好きなことをみんなとしていると、毎日がとても楽しくなった。
大学では様々な得意がある人に出会う。絵を描く、変面、アクセサリー制作、モチーフ編みなど、数えるとキリがない。ひなさんも趣味のネイルチップの制作をはじめ、似顔絵のスキルはアルバイトのオフアワーがあるほどの腕前。
好きが高じて、友人3人でハンドメイド同好会「しえるとびあ」を立ち上げた。自分の得意や好きなことを活かして、友人と一緒に日々をもっと楽しくしたい。大学のスペースで、自分たちで作りをした衣装やアクセサリーを身につけて、メイドカフェのイベントも行った。
「私ができることで、相手が笑顔になってくれるのが嬉しい。シンプルにそう思ったんです。」日々を楽しくする

ために、自分がワクワクできることを増やしていった。

ボランティアと
とくいの結びつき

私たち社会福祉協議会では、地域の人材育成に取り組みしてきた歴史がある。

「ボランティアって、（支援が必要な）誰かのために行う奉仕活動というイメージが大きいと思うんですけど、活動の目的って自分のためという声が圧倒的に多いんですよ。」「全く興味がなかったけど、誘われてボランティアをしてみたら、『ありがとう』と言われて嬉しかった！と、感謝が自分に還元されることで、気づいたりとか。だから自分の生活を充実させるために、活動を行った結果、『助かった人がいる』っていう見方もあると思うんです。」とボランティア担当。

ボランティアは「個人の自発的な意思に基づく自主的な活動」（厚生労働省HPより）とあるが、そこにたどり着くまでのハードルは高く、活動者が増えていかない課題感が

あった。「誰かのための奉仕」のイメージが先行され、使命感がないと難しいと捉える声もきく。そのハードルを下げ、「個人のできることをやしたいこと」が、結果誰かのためになる。わかりやすい入口が必要なのでは？と考えていた。できますポケットワークショップは、自分の「とくいや好き」が誰かの役に立つ（喜ぶ）ことを、地域活動のきっかけにしようと企画したもの。

「とくい」って人より秀でているとか、そういうことじゃなくて、自分が得意（好きなこと）でいいんです。そうじゃないと気軽に参加できなくなってしまうから。」

そのため、得意の定義は「自分のレベルでいいんだ」という事例を紹介。例えば「散歩に付き合うのが得意です。」とか、特別なモノではなく自分が生活の中で普通にしていることを紹介して、「とくい」でできることや好きなこと」とワークショップの中で何度も繰り返した。ひなさんは曾祖母が元気になったように、誰かを元気にできる活動をしたいと思ったが、そこに社会

とくい がもたらす
喜び

注目したのは高齢者のとくい。世代背景を考えると自分で「得意がある」、とはなかなか言いにくいもの。そこで



ネイルチップを作成する様子



できますポケットで笑顔で話すひなさん

供する側が得られる喜びのために、質を突き詰めていく姿勢は共通だった。

企画を重ねる中で苦労したのは、「とくいの先生」を集めること。そして、イベントに来た方たちの「とくい」を引きたいことを引き出すことだった。「どうやったら、得意って引き出せるのかな？」ネイルを塗りながら、考えを巡らせた。家族を思い浮かべて、お母さんやおばあちゃんの得意をどうやったら引き出せるか、を想像してみる。ストリートに「とくいってなんですか？」と聞くのは、謙遜

高齢者の支援を行う専門職から、教えることに関心のありそうな高齢者の情報を得て、とくいを子どもに教える企画を考えた。

「高齢者のイメージは若い人に支えてもらう、やってもらう側になってしまいがちだけど、人生の先輩の方が経験豊富で教えられることってたくさんある。」

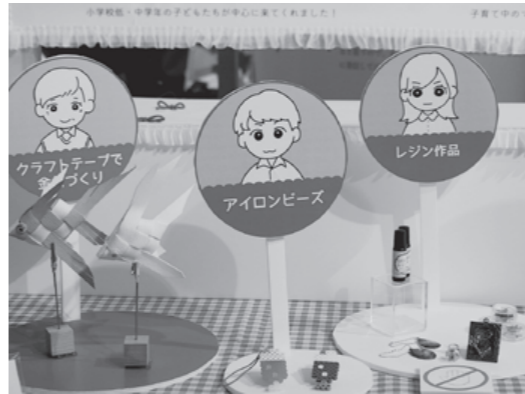
高齢者本人が教えたかったのは、クラフトテープでつくる金魚。楽しみの反面、とても緊張していたようで、YouTubeを見ては何度も練習にいそしむ様子をきいた。体操教室の送迎のバスの中でも一生懸命折っている姿が印象的だったそう。

「イベントが楽しみな反面、



誰かに何かを教えようと思ったら気が張るし、うまくできなかつたらどうしよう、というプレッシャーもあるみたい。」と周りの支援者。うまくできないことで、「楽しくなかったな」とか、「できてなくて恥ずかしい」という思いはさせたくない。友人も声をかけて、サポート役として参加してもらった。YouTubeで作り方を予習してサポートができるようにした。

イベント当日。「子どもの方がうまいなあ」と言いながらも、横でびったり寄り添って作り方を教える高齢者。一人暮らしのため小学生の子ど



大学の卒業展示でひなさんが作ったブース

して答えがでてこないだろう昔やってたこととか、好きだったことを聞くと、たくさん話してくれることを思い出した。そこからは、昔にやっていたことから「とくい」や「好き」を聞くことを心がけた。小さなお子さんを連れのお母さんが「実は、昔は登山が好きで」とか、運動のイメージがない方が「スキーが好きでよく行っていたよ」とか、意外な答えに、個人の楽しみや好きなことの多様性を無限に感じた。

「できますポケット」の先に見えるもの

最後のイベントで行ったネイルチップ作成。参加した人から、「うちの団体に来て教えてほしいな。」と声をかけられて嬉しかった。同時に、私の「とくい」を持ち帰って広げてほしい、とくいで人を喜ばせることができる体験をシェアしたいと思った。

「材料は全て100円ショップのものなんです。そんなに負担がなくて揃えられるし、

もとわいわいする機会はなかったと思う。サポートに入った大学生も、複雑な作り方に苦戦。「やつぱりおばあちゃんはずごいな！」子どもたちも、サポート側もそう思った。普段の生活で、朝から夕方まで小さなお客さんの相手をするのではないだろうから、疲れたと思う。でも、表情はとても明るくて、やっぱり誰かの役に立つことは、人を元気にするんだな。青森の曾祖母を思い出した。

ひなさんのネイルチップブースも大盛況。「あれも、これもいいなあ」と、チップのデコレーションを選ぶのに迷う子供たち。想定していた時間どおりに進まず、並ぶ長蛇の列にプレッシャーを感じた。やりたいと思っている子の期待に応えたい、と時間を延長して、材料がなくなるまで向き合った。

「わあ、きれいにできました。」と満足気に帰る子どもたちの顔を見て、よかったなと思えた。いつも得意をシェアするのは同じ年代だったから、子供から高齢者までこんなに年齢層が広い人たちで共有しあうのは新鮮だった。

今日、こんなに素敵に作っているの、是非みなさんで作ってみてくださいね。」と伝えた。この方だったら、ネイルチップ制作を自分の「とくい」として活用できると思った。

担当教員からは「参加する側と一体になって、楽しい場を共有できたこと」を評価してもらえた。こういう研究でよくあるのは、人が集まらず、無理をいって地域の方に付き合ってもらうパターンが多いのだそう。

「イベントで知り合えた寒河江市民のみなさんは、ぼつと出の学生でも優しく迎えていただけで、あたたかく、ありがたかった。」と様々な地域で活動をした中でも思い入れは深い。卒業後は、九州にあるベンチャー企業でデザイナー職として地域の魅力発信を行っていく。「地域の宝探しカンパニー」というテーマを掲げているところに惹かれたのだそう。「社会人になって生活スタイルは変わるけど、自分自身の「とくい」や「好き」を活かして、新しい環境でイキイキ生きていきたいです!!」

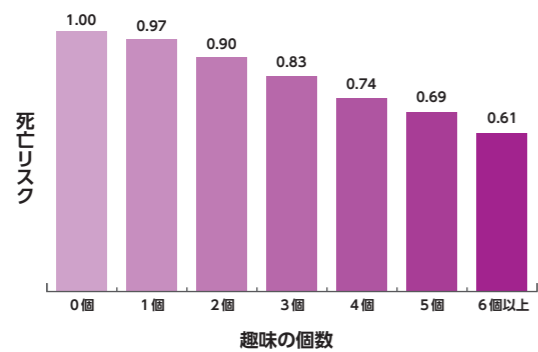
「疲れて帰って一息つくとも、また、やってみたいなって思ってた。こういう気持ちがあるランティアで得られるのかもしれない」「自分のできるところで相手が喜び、それがまた嬉しかった」その感情から誰かのためになる企画をつくっていきたくと思った。

地域の個性を活かす「とくい」の広がりと未来

「ボランティアや地域活動の『必要性や正しいこと』を前面に出して伝えるよりも、単純に『やってみたいな、これなら参加しようかな』って思ってもらえることが企画を考えるときの原点。みなさんの関わりやすさを一番に考えた一つの方法が、できますポケットだったんです。」とボランティア担当。

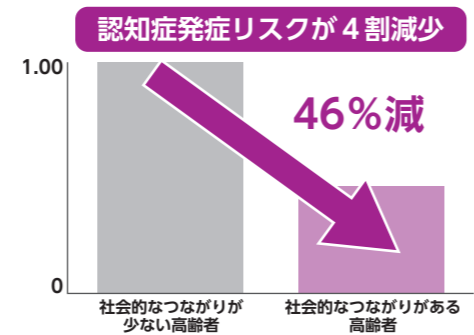
自由度の高い、楽しいイベントのイメージが先行してしまいかもしれないが、ひなさんは1時間に1本運行の左沢線で打ち合わせに赴き、オンライン会議やメールでやりとりを何往復も重ねて企画を深める日々。参加する側と、提

趣味が多いほど、死亡リスクは低くなる！



出典：『100年心臓』のつくり方（東京医科歯科大学）

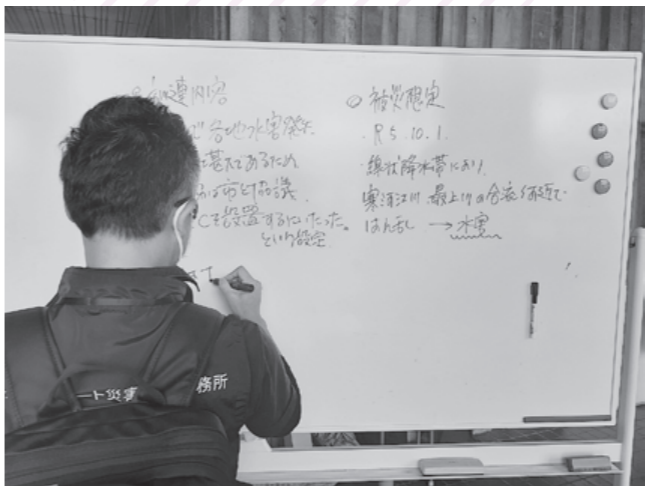
社会的つながりの多様性得点と認知症発症リスク



出典：『社会的つながりの多様性得点と認知症発症リスク』（国立長寿医療研究センター）

災害ボランティアセンター設置訓練

10月1日(日)に、文化センターで行われた市防災訓練に併せ、災害ボランティアセンター設置訓練が実施されました。この訓練では、大雨による水害が発生したと仮定し、災害ボランティアセンターが設置された場合の運営訓練が行われました。



各地区社協や寒河江青年会議所などから41名の参加者があり、ボランティアセンターに対する理解を深めることを目的に、受付から送り出しまでの流れを体験しました。最近では大規模な災害が頻発しており、テレビのニュースなどで災害ボランティアの活動を目にすることも増えていきます。被災地の早急な復旧において、ボランティアは重要な力となっています。

社会福祉協議会では、災害が発生した際に円滑な運営を行うため、ボランティアセンターの設置や運営に携わるための養成研修会を開催しています。さらに、運営に協力してくれるメンバーを広く募集しています。ご興味のある方はお問い合わせください。

猪狩僚さんに学ぶ、人とのつながり —これからの地域づくり研修会—



みんなを魅了したゲストの猪狩氏

壁を乗り越える、どうおもしろくするか、など、たくさんヒントをいただきました。参加者からも「視点を変えて、前向きに明日からケアに取り組みます」や、「コロナに刺さった、みんなで何かできるかもしれない」など、心が動かされた熱いメッセージをいただきました。この思いを大切に、地域のみなさんと一緒にできることを探していきたいと思います。



猪狩氏が行ったみんなのお勝手「いっだれ kitchen」

ふくしミーティング

高齢者が地域社会で充実した生活を築くための視点を広げるため、地域の経験豊かな福祉関係者や専門家と、参加者が交流し、様々な事例を通して知識を深める機会として開催。

プログラムのハイライトは以下の2点でした。まず、地域リソースの活用に関する視点、地域にある多彩なリソースから、高齢者が元気になるためのアイデアが出されました。事例を通して学び、今後の高齢者の生活をより良く支えるヒントが得られました。

次に、役割の重要性が強調されました。高齢者が自分の得意なことや好きなことに焦点を当て、それを役割として持つことが、健康で元気な生活の鍵であるという視点が共有されました。

この「ふくしミーティング」を通じて、参加者は高齢者に対する理解が一層深まり、支援だけでなく共に生きる地域社会の構築が必要であることを実感しました。彼らと協力して地域社会を作り上げる



テーブルワークの様子

けることが、健康で元気な高齢者を増やす鍵であるという共通の認識が形成されました。「ふくしミーティング」は、地域のコミュニティが協力し合い、高齢者が元気に暮らせるようになるための重要な一歩となりました。地域の多様なリソースと役割を活かし、共に生きるコミュニティの概念が確立され、参加者はこれを通じて、地域社会への深い関与と貢献の意識を高めました。

輝いて暮らすために「仲間づくり」から

—地域・人「つながる」講座

人と地域のつながりが、地域生活に豊かさをもたらすことを知ってもらおうワークショップを開催しました。参加者は「豊かな生活を考えたい」「地域とのつながりを持ちたい」といったさまざまな思いが集まりました。

山形市で座敷蔵を開放し、地域カフェを開催している堀川敬子氏を講師に迎え、「豊かな老後を過ごすヒント」と題して話を聞きました。地域の居場所や生きがい作りの場について現地研修やテーブルワークでの意見交換などを通して参加者同士が交流。計3回のワークショップを通して、「グループで名刺交換したので今後関係を深めたい」「今回仲間になった方々と第二弾で何かやってみたい」といった声が寄せられました。

また、「これまでの人付き合いの消極的な考えを改め、積極的に交流したい」「挑戦する心を忘れ



講師の堀川氏

ずに、人とのつながりを大切にしたい」といった自身の考え方も見直すきっかけとなった参加者もいました。さらには「自宅の庭を開放し、みんなの交流の場を作りたい」「地域にうたごえ喫茶をつくりたい」といった今後の目標を語る参加者もあり、この講座が「地域の中で人と人がつながる」きっかけ作りになったようです。

募集

リサイクルボランティア募集中!

社協では現在、資源回収されたプラタブ・ペットボトルキャップの分別ボランティアを募集しております。お1人でも、仲間を誘ってでも、気軽に分別ボランティアをしてみませんか?

プラタブ

アルミ缶のプラタブのみ回収されます。スチール製プラタブや缶詰のふたなどを取り除きます。

ペットボトルキャップ

飲料かつ清潔なキャップのみ回収されます。汚れのあるキャップ、調味料・洗剤のキャップなどを取り除きます。

フードドライブ実施中

社協では下記の食品や生活用品を受け入れています。提供いただいた物品は、生活にお困りの方や社会福祉施設、団体等に提供しています。

■食品……缶詰・インスタント、レトルト食品・乾麺など

■生活用品…洗剤・トイレトペーパー・シャンプーなど

注意事項：未開封（外箱に破損がない）、賞味期限が1ヶ月以上あるもの、常温保存可能なもの等…詳細は問い合わせください。

生活にお困りの方、福祉施設の方で物品の提供を希望される方はご連絡ください。

食の自立支援事業「ふれあい給食」調理・配送ボランティア募集

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯、または障がい者で食事の支度が困難な方に昼食をお届けする「ふれあい給食」はボランティアの活動に支えられています。新鮮な食材を使って調理ボランティアが手作りし、この出来立ての給食を温かいうちに届けるのが配送ボランティアです。お届けする1人ひとりの顔を見て渡すことで、安否確認の役割を担っています。

一緒に活動してみませんか。

興味のある方はお問い合わせ下さい。

すべての問い合わせ先は

【市民福祉課】

☎0237-83-3220

お知らせ

地域福祉推進員の変更は、地区社協に報告ください

地域福祉推進員の任期は令和5年4月1日～令和8年3月31日までの3年間となっております。都合により任期途中で、地域福祉推進員の変更がある場合は、令和5年度の町会長より、推進員変更届の提出を3/15までに地区社協にお願いします。なお、様式につきましては社会福祉協議会の窓口、もしくはホームページよりダウンロードいただけます。

令和6年度ボランティア活動保険の加入受付が始まります

ボランティアをする際はボランティア活動保険に忘れずに加入しましょう。水害・地震などの災害ボランティアに参加する場合も出発時に必ず加入しましょう。

▶受付 3月1日から

▶補償期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

福祉バス利用の予約を受け付けています

社会福祉関係機関及び福祉団体が実施する事業や研修会などに福祉バス（中型26人乗り）を運行します。

▶有料道路通行料や駐車場代は利用者負担

▶1日の走行距離はおおむね200kmまで

車イス・各種機材貸出を行っています

車イスを一時的に必要とする方に短期貸出（1ヶ月以内）をしています。

また、子供会行事や町内会行事などの地域活動に各種機材を無料で貸出します。

貸出機材

- ・ポップコーン機
- ・綿菓子機
- ・かき氷機
- ・鉄板セット
- ・発電機
- ・臼、杵

「令和6年能登半島地震災害義援金」を受付いたします

1月1日に発生した地震により被災された方々を支援することを目的に、石川県・富山県・新潟県・福井県の各県共同募金会または中央募金会への募金を受付いたします。

窓口共同募金会の募金箱を設置いたします。ご協力よろしくお願いたします。



「世代的に」といって、若い世代は「新しい世界」が広がったと感じました。と、興味のあるブースをそれぞれ体験。「せっかくだから孫に送ろうかな」とガラスペンで書いた手紙を大事そうに手にする方や「家族に見せるの楽しみだわ」、「みんなともう一回やってみよう！」とキラキラ輝く爪を嬉しそうに眺める参加者。「初めて見るものばかりで新鮮だ」、「若い人たちとおしゃべりしながら作るの若返りみたいで楽しいねえ」と生き生きとした表情。普段はなかなか交流することのない世代の「とくい」を一緒に体験し「新しい世界」が広がったと感じました。

「寒江市福祉と健康フェア2023」社協DAY
「大学生の「とくい」を体験しよう」

社協DAYのオープニングは、餅つきと餅振る舞い。法被を着た職員が杵で餅をつき、その音と掛け声が館内に響き渡ります。



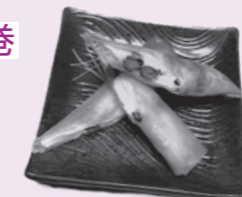
つきあがった餅は、給食ボランティアの協力で「あんこ、納豆、きなこ」の3色に盛り付けられ、ボランティア「昔語りの会」の会場である和室に運ばれ、来場者に振舞われました。語りを聞き終わって、つきあがった餅をいただく皆さんからは「歯切れがよく大変おいしかった」と好評をいただきました。多目的ホールでは「とくい体験できますポケット」ボランティア団体による折り紙の体験、福祉用具の展示などが行われました。「できますポケット」ではボランティア団体や地域の方、大学生など幅広い年齢層の多くの先生が集まり、折り紙やクラフトテープ作品作り、ネイルチップ作成、ガラスペン体験、アロママッサージュやこりほぐし体験、指ヨガ、介護予防相談などブースの出店がありました。「孫に手紙を書こうかな」という方もおり、熱心に作品作りに取り組みまれました。

食物繊維を上手に摂ろう

高齢者向けのレシピを紹介します!

高齢になると噛む力や飲み込む力が弱いため、硬いものや繊維質の多い食材を避ける傾向に。食物繊維は腸の動きを良くし、糖の吸収を緩やかにする効果があり、積極的に摂りたい栄養素です。

黒豆とクリームチーズ春巻



- 材料（各適量）
- ・黒豆の煮豆
 - ・クリームチーズ
 - ・春巻の皮
 - ・水溶き小麦粉

作り方

1. 春巻の皮に黒豆と、同じ大きさにあわせてカットしたクリームチーズを交互に一列に並べる。（両端は2センチほど空ける）
2. くるくると細長く巻き、最後に水溶き小麦粉でとめる。
3. フライパンに1センチほどサラダ油を注ぎ、弱火できつね色になるまで揚げる。お好みではちみつをかけてもよい。

スティック状の春巻きはつかみやすく、水分を含むと柔らかくなり食べやすくなります。クリームチーズでタンパク質・カルシウムも摂れます。

ふれあい給食ボランティアより

ドライフルーツはプレーンヨーグルトにドボン!

干し柿、ドライマンゴーなどのドライフルーツは食物繊維の宝庫。ただし、噛み切りにくいのが難点。そこで、ひと口大にカットし、ヨーグルトの中に半日ほど漬けておくことで、ドライフルーツは生のような食感に。ヨーグルトは濃厚な味わいを楽しむことができるのでおすすめです。

訪問ヘルパーより

豆腐にも食物繊維は含まれる!

豆腐には水溶性の食物繊維が含まれています。フライパンで炒った豆腐にめんつゆで味をつけ、卵でとじた簡単炒り豆腐で食物繊維が手軽にとれます。

ありがとうございます！ — お礼とご報告 —

令和5年度寒河江市社会福祉協議会会費

社会福祉協議会会費

一般会費	11,174件	13,408,800円
賛助会費	70件	142,300円
企業賛助会費	106件	575,000円

合計 14,126,100円

地域福祉の向上のため、社会福祉協議会の諸事業に活用させていただきます。

●企業賛助会員ご芳名 (敬称略)

(株)アールテック 青山建設(株) 曙プレーキ山形製造(株) 朝日観光バス(株) (有)アシスト 安孫子経営教育研究所 (株)安孫子建築事務所 (株)阿部林業 いたさか青果 (株)こころの宿一龍 伊藤建設(株) 犬飼建設(株) 井上工業(株) 樺津建設(株) 大泉興業(株) 大久保歯科医院 (有)大久保薬局 (株)太田塗装店 大富建設(株) 大沼工業(株) (有)鹿島重機 (株)片桐塗装店 月山酒造(株) 菊地胃腸科内科医院 菊地歯科医院 菊池商事(株) (株)木村ぶつだん	(株)グートスイミングクラブ 國井建設(株) (有)グリーン・プランテーション (株)建図 (有)平商事(株) 小林ダクト工業(株) (有)齋藤電気 寒河江印刷(株) (株)寒河江技術コンサルタント 寒河江市金融団 (株)寒河江自動車学校 寒河江商事(株) (株)寒河江スパル (株)寒河江測量設計事務所 寒河江タクシー(株) さがえ西村山農業協同組合 (有)サガミ自動車 (株)佐藤紙店 佐藤歯科医院 佐藤繊維(株) (株)さとう電熱 (株)サトー住販 さふらん寒河江店 サラヤ(株) (株)進興製作所 新寒河江生コンクリート(株) (株)ホテルシンフォニー	鈴木齒科 (有)鈴木木工 鈴木食品製造(株) (有)鈴建 (有)スポーツ館 (株)住吉屋食品 西部建材(株) 第一相互物産(株) (有)タイコー電機商会 太陽コーポレーション(株) (株)たかき (有)高島屋本店 (株)高田地研 (株)高木 (株)宝工務店 武田久夫税理士事務所 (株)多田商店 (株)チェリーランドさがえ 中央タクシー(株) (株)長陵 (株)土田電気工事 角田商事(株) TPR工業(株) (株)総合葬祭天国社 東北グンゼ(株) 日東ベスト(株) 芳賀水道(株)	八松園(株) (株)花泉 早坂肇税理士事務所 (株)平野学園 布施建設(株) 双葉重機リース(株) (有)古川板金工業所 ホンダプラザ寒河江(株) HondaCars 寒河江高田店 (株)マモル マルタ醸造(株) 丸菱食品(株) (株)丸松青果 (株)村建 森田建設(株) (株)森谷家具センター やぐらや (株)山形環境エンジニアリング 山形ハルタ(株) (株)山形ミートランド (株)ヤマゼン (福)悠々会 特別養護老人ホームいづみ 特別養護老人ホームしらいわ (株)リプライ (株)若月印刷 渡辺建設工業(株)
---	--	---	--

●個人賛助会員ご芳名 (敬称略)

安食 透 安食 俊博 安孫子 修 安孫子 恵司 安孫子 仁 阿部 善弘 荒目 春夫 市村 孝夫 卯月 恒行 樺津 泰正 大泉 富博 大久保 晴二	大波 龍一 大沼 和夫 大沼 友伸 大沼 保義 奥平 暁俊 奥山 治朗 奥山 尚子 小野 承信 小野 修介 柏倉 誠 加藤 浩司 亀山 尚也	鴨田 一敏 軽部 健 軽部 秀昭 菅野 榮子 菊地 富雄 菊地 直人 草刈重治郎 工藤 正年 後藤 智樹 小林 和芳 佐藤 恒 佐藤 真悦	佐藤 光興 澤田 宏 設楽久美子 菅原 大榮 鈴木 修 鈴木 邦男 鈴木 淳一 鈴木 祐子 高橋 源喜 高橋 勝文 丹野 和之 土田 一誠	土田 平 土田 剛 土田 輝美 土田 芳昭 角田 裕一 那須嘉一郎 那須 五郎 那須 重男 那須 吉雄 野口 康雄 芳賀 悠一郎 芳賀 友幸	芳賀 秀明 芳賀 宏 芳賀 正司 布施 健 智典 智典 細谷 俊裕 細谷 憲孝 松田 伸一 森岡 喜輝 渡辺 徳夫
---	---	--	--	---	--

ありがとうございます！ — 寄付のお礼とご報告 —

●寄付金

- 寒河江市盆栽クラブ 会長 菅藤 義幸 様
- 玉虫エコクラブ 事務局 高橋 正吾 様
- (株)読売蔵王 代表取締役 鐘下 勝彦 様
- 小野クナ子 様
- 匿名 様

●物 品

- J Aさがえ西村山 女性部 様
- 国際ソロプチミスト寒河江 様
- 寒河江市シルバー人材センター 女性会員 様
- (株)ユアテック寒河江営業所 様
- 白鳩会 様

※令和5年2月から令和6年1月末日までにいただいた方を掲載しております。

一人暮らし高齢者の集い

■西根地区社協 「の～んびり茶の間」探訪

「自宅の近くにこんな場所があればいいなあ」。西根地区社協は一人暮らし高齢者とNPO法人ふれあい児童を訪問。参加者は、居場所「の～んびり茶の間」の雰囲気や利用者の様子などを体感。昼食は、品数の多さと彩りの豊かなメニューに喜びの声がありました。アットホームな雰囲気に参加者同士の会話も大盛り上がり。空き家を活用し、参加者を含



めみんなで作りあげている空間に感動する方が多く、「素晴らしい活動をぜひ応援してほしい」「自分の住んでいる地域にあれば毎日でも通

いたい」という声も。地区社協からは、「この集いが参加者のこれからの生活にプラスになったと思う。ふれあい児童を参考に、地域でできることを考えたい」というお話がありました。

■柴橋地区社協 慈恩寺周遊

柴橋地区社協は、一人暮らし高齢者と「本山慈恩寺・慈恩寺テラスをめぐる旅」を実施。慈恩寺の歴史や仏像について学び、改めてその魅力を再確認する参加者。散策中は久しぶりの仲間との交流に、話が弾

みました。地区社協は「男性の参加者が半数を占めておりうれしく思う。外に出る機会が少なくなっていたが、この集いが他の人との交流のきっかけになるのではないか。」と話しておりました。

第73回 山形県民福祉大会

■県知事表彰 民生委員・児童委員功労者

大波なな子氏 佐藤玲子氏 鶴谷照美氏

■大会会長表彰 一般社会福祉事業関係功労者

小野クナ子氏 中瀬玲子氏
阿部啓子氏 菅井智加子氏

■社会福祉事業協働・奉仕者

森谷充子氏 鈴木よし子氏
黒田和子氏 荒木秀子氏

■山形県社会福祉協議会会長感謝状

木村石油株式会社様

2023 寒河江市社会福祉協議会 会長表彰

■会長表彰

町会長功労者 大泉 一広氏
民生委員・児童委員功労者 鈴木 光義氏
地域福祉活動功労者 県立寒河江工業高等学校 南地区PTA様

■会長感謝状

ボランティア活動功労者 本木美知子氏

ありがとうございます！

赤い羽根共同募金

募金額 4,742,880円

山形県共同募金会に集約され、翌年度、寒河江市の福祉団体活動や福祉施設の整備、地域福祉事業などへ配分されます。

歳末たすけあい募金

募金額 2,881,681円

各地区の配分委員会を経て、支援を必要とする方々へお届けしました。

ありがとうございます！

放課後児童クラブ「さくらっこクラブ」

運営者からのメッセージ

さくらっこクラブでは、空気清浄機のエアドッグを購入させていただきました。特に夏冬などの換気ができない時期(エアコン使用時)には大変重宝し、24畳の和室で年間250日以上使用しております。35名の子どもたちの感染対策の一環として、これからも永く大切に使用させていただきます。

赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。一同御礼申し上げます。



受賞おめでとうございます

新規会員募集中

ー公益財団法人山形放送愛の事業団・ 山形新聞・山形放送主催「愛の鳩賞」ー

視覚障がい者にも、様々な情報を届けたい。市報を点訳した「点字版市報」の発行や、児童書を点訳し盲学校へ寄贈する活動を中心に、20年以上にわたる点訳活動が評価され受賞。社協主催の「夏休みボランティア体験」「ボランティアフェスティバル」に、積極的に参加し、小学生から大人まで幅広い年代が点訳に触れる機会を提供。また、技術向上のため、定期的に勉強会を行い研鑽に努めています。

会員は「ぜひとも若い年代の方にも点訳に興味を持ってもらいたい。私たちはこれからも変わらず、点訳活動を継続させていきます。」と喜びをかみしめました。

点訳の仲間へ



傾聴ボランティア

はあとの会

ーソロプチミスト日本財団「社会ボランティア賞」ー

毎月第1木曜日「はあとカフェ」の開催を楽しみに、西部地区公民館に通う方がいます。誰でも気軽に訪れ、茶飲み話が楽しめる安らぎの居場所として開催しています。

これまで市内外の高齢者施設等で、入居者の日常の出来事や悩みに耳を傾け、寄り添う心のケアを続けてきました。コロナ禍で、活動が危ぶまれたものの、その需要はますます高まっていると感じ、訪問から集まるスタイルに変化。心が病むことが多い現代。傾聴の理解を深めようと、市民講座も企画しました。

会員は「賞に恥じないよう、これからも時代にフィットした形で傾聴活動を続けていきたい。」と意欲に満ちあふれた様子をうかがうことができました。

出入り自由

初めてのことがいっぱい！
大好きが見つかる！

ボランティア体験会

2024. 3. 21 木

開催時間 13:30~15:00
開催場所 ハートフルセンター2F 多目的ホール

市内で活動するボランティア団体が集合！！
活動内容のパネル展示や体験コーナーあります

楽しいことをしたい
ボランティアをお願いしたい
どんな活動があるのかな
いろいろな仲間が欲しい
新しいことに挑戦したい
点字/昔語り/パルーンアート/傾聴 など参加

ボランティアに興味のある方 ぜひご参加ください

ボランティア活動の体験や、派遣の相談など、ボランティア団体がブースを開設し、皆さんをお迎えします。傾聴、点訳、昔語り、パルーンアート、中高生ボランティアサークルなどが参加予定。ボランティア活動に関心のある方、施設や病院などボランティア派遣の希望がある方などの参加をお待ちしております。

老人福祉センター温泉回数券を 5名にプレゼント！

広報紙「愛さぽーと」の感想をお待ちしています。

- ①名前
- ②住所
- ③連絡先（電話またはEmail）
- ④愛さぽーとの感想
- ⑤今後特集してほしい内容

二次元バーコード、フォームからお答えいただくか、〒991-0021 寒河江市中央2丁目2-1 ハートフルセンター2階 寒河江市社会福祉協議会まで郵送ください。

締切2024年3月20日(水)まで

<https://forms.gle/z3BKxqYLiQiFMRUP8>



プレゼントの発送をもって当選にかえさせていただきます。

